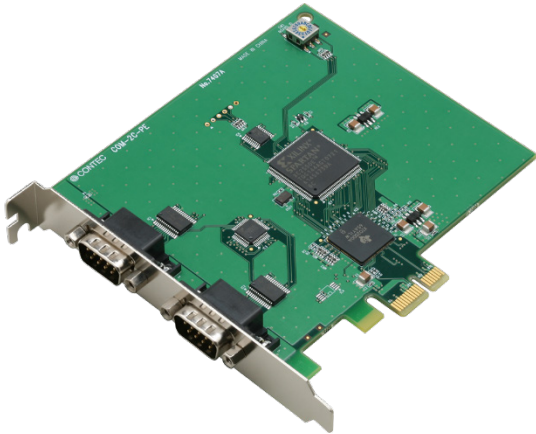


PCI Express 対応 RS-232C 2ch シリアル通信ボード COM-2C-PE



※製品の仕様・色・デザインは、予告なしに変更することがあります。

特長

- RS-232C シリアル通信 2ch、最高 921,600bps に対応
RS-232C 準拠のシリアルポートを 2 チャンネル搭載しています。
各チャンネルに 2 - 921,600bps までのボーレートの設定が可能です。「標準 COM ドライバソフトウェア」および「ドライバライブラリ API-PAC(W32)」を使用する場合は 15 - 921,600bps までのボーレートとなります。
- ドライバソフトウェアにより Windows、Linux の標準 COM ポートとして使用可能
Windows または Linux でパソコン本体の COM ポートと同様に使用できるドライバソフトウェアを用意しています。
Windows は OS 標準の Win32API コミュニケーション関数および Visual Basic の MSComm に対応、Linux は OS 標準の tty ドライバの標準関数が使用できます。また、ハードウェアの動作確認や機器との通信テストが行える診断プログラムも提供しています。
- 最大 16 枚までのボードを増設でき、COM1 - COM256 までの設定が可能
1 台のパソコンに最大 16 枚までボードを実装できます。デバイスマネージャにより、COM1 - COM256 までの設定が可能です。
- 各チャンネルに送信 128byte 受信 128byte のバッファメモリを搭載
各チャンネルに送信専用 128byte、受信専用 128byte のバッファメモリを搭載しています。
バッファメモリは FIFO 形式で、高速な通信やデータ送受信時の CPU 負荷軽減に役立ちます。FIFO 使用有無、FIFO トリガサイズを、デバイスマネージャで設定することができます。トリガサイズをシステムに応じた調整をすることで、最適なシステムが構築できます。
- パソコンと同じ使いやすい 9 ピン D-SUB コネクタを採用
RS-232C で最も汎用的な 9 ピン D-SUB コネクタを採用しており、市販の RS-232C 準拠のケーブルが使用できます。
- 用途に応じたケーブル、コネクタをオプションで用意
ストレートケーブル(1.8m)、クロスケーブル(1.8m)、および自作ケーブル製作用の 9 ピン D-SUB コネクタ(オスタイプまたはメスタイプ)をオプションで用意しています。
- RS-232C 制御線をソフトウェアで制御・監視が可能
RTS、CTS、DTR、DSR の制御線をソフトウェアで制御や監視が可能です。
- ドライバライブラリ API-PAC(W32)に対応
Win32API 関数(DLL)形式で当社独自で定義したローカルな関数を提供するライブラリソフトウェアです。Visual Basic や Visual C++ などの Win32API 関数をサポートしている各種プログラミング言語で、当社ハードウェアの特色を活かした高速なアプリケーションソフトウェアが作成できます。
- 計測システム開発用 ActiveX コンポーネント集 ACX-PAC(W32)に対応
プログラム作成なしに利用できる実例集の 1 つとして RS-232C ビューワを収録しています。RS-232C ビューワを使用することにより、標準 COM ポートから RS-232C 通信を行い、データ取得します。また、データを数値変換し、トレンドグラフで画面表示したり、通信テストでは、RS-232C 送受信の状態を表示することが可能です。

本製品は、パソコンに RS-232C 準拠のシリアル通信機能を拡張する PCI Express バス対応ボードです。

RS-232C 準拠のシリアルポートを 2 チャンネル搭載しています。

各チャンネル、送受信別に 128byte の FIFO バッファを搭載、921,600bps までのボーレートに対応しています。1 台のパソコンに最大 16 枚までのボードを増設でき、COM1 - COM256 までの設定ができます。Windows/Linux ドライバを用意、OS 標準の COM ポートとして使用できます。

当社独自で定義したローカルな関数を提供するドライバライブラリ API-PAC(W32)や ActiveX コンポーネント集 ACX-PAC(W32)に対応しています。

※本内容については予告なく変更することがあります。

※最新の内容については、当社 Web サイトをご覧ください。

※最新の OS については、当社 Web サイトでご確認ください。

※データシートの情報は 2023 年 4 月現在のもです。

仕様

機能仕様

項目	仕様
チャンネル数	2ch
入出力仕様	RS-232C
伝送方式	非同期シリアル伝送
ボーレート	2 - 921,600bps *1 *2
データ長	5、6、7、8 ビット
	1、1.5、2 ストップビット *1
パリティチェック	イーブン、オッド、ノーパリティ *1
搭載 LSI	162850 相当品 (FIFO バッファは、各チャンネルに送信用 128byte、受信用 128byte)
信号延長可能距離	15m 以内
割り込み	1 点使用 *3
I/O アドレス	8 ビット×32 ポート占有
消費電流	3.3VDC 500mA(Max.)
使用条件	0 - 50℃、10 - 90%RH(ただし、結露しないこと)
バス仕様	PCI Express Base Specification 1.0a x1
外形寸法(mm)	121.69(L)×110.18(H)
使用コネクタ	9 ピン D-SUB コネクタ、 DECL9PAF-20L9E [JAE 製、M(雄)タイプ]相当品
ボード本体の質量	90g

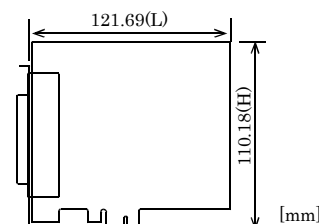
※1 ソフトウェアによって設定することができます。

「標準 COM ドライバソフトウェア COM Setup Disk」および「ドライバライブラリ API-PAC(W32)」では、15 - 921,600bps となります。

※2 高速でデータ伝送する場合、外部機器やケーブル長などの環境によって正常な伝送ができない場合があります。

※3 割り込み信号は、1 つの割り込み信号にまとめられて出力されます。

外形寸法



標準外形寸法の (L) は、基板の端からスロットカバーの外側の面までのサイズです。

同梱品

- 本体[COM-2C-PE] …1
- 必ずお読みください…1

オプション

製品名	型式	内容
ケーブル	RSS-9M/F	RS-232C D-SUB9P ストレートケーブル(1.8m)
	RSC-9F	RS-232C D-SUB9P クロスケーブル(1.8m)
	RSS-25M/9F	RS-232C コネクタ変換ストレートケーブル (25M→9F, 1.8m)

サポートソフトウェア

■標準 COM ドライバソフトウェア

Windows または Linux で当社製シリアル通信ボード(カード)をパソコン本体の COM ポート(標準 COM)と同様に使用できるようにするためのソフトウェアです。ボード(カード)の増設により COM1 - COM256 まで設定できます。

リモートアクセスサービス(RAS)や無停電電源(UPS)などの各種シリアル通信を行うことが可能です。

Windows では OS 標準の Win32API コミュニケーション関数(CreateFile(), WriteFile(), ReadFile(), SetCommState()など)に対応しています。Visual Basic のコミュニケーションコントロール(MSComm)に対応しています。 .NET Framework 2.0 のコミュニケーションクラス(SerialPort)に対応しています。

Linux では OS 標準の tty ドライバに準拠しています。open(), close(), read(), write()などの標準関数に対応しています。

対応 OS や適応言語の詳細・最新情報は、当社 Web サイトでご確認ください。

△ 注意

最大 COM ポート数はご使用になる OS 環境などにより異なります。

■ドライバライブラリ API-PAC(W32)

(当社 Web サイトよりダウンロード(無償)ができます)

当社ハードウェアへのコマンドを Windows 標準の Win32API 関数(DLL)形式で提供するライブラリソフトウェアです。Visual Basic や Visual C/C++ などの Win32API 関数をサポートしている各種プログラミング言語で、当社ハードウェアの特色を活かした高速なアプリケーションソフトウェアが作成できます。

また、インストールされた診断プログラムにより、ハードウェアの動作確認にも利用することができます。

詳細は、当社 Web サイトを参照ください。

△ 注意

本ライブラリは、当社独自で定義したローカルな関数(SioOpen(), SioWrite(), SioRead(), SioStatus()など)です。OS 標準の Win32API コミュニケーション関数(CreateFile(), WriteFile() など)との互換性はありません。

■計測システム開発用 ActiveX コンポーネント集 ACX-PAC(W32) (別売)

本製品は、200 種類以上の当社計測制御用インターフェイスボード(PC カード)に対応した計測システム開発支援ツールです。

計測用途に特化したソフトウェア部品集で画面表示(各種グラフ、スライダ他)、解析・演算(FFT、フィルタ 他)、ファイル操作(データ保存、読み込み)などの ActiveX コンポーネントを満載しています。

アプリケーションプログラムの作成は、ソフトウェア部品を貼り付けて、関連をスクリプトで記述する開発スタイルで、効率よく短時間でできます。

また、データーガーや波形解析ツールなどの実例集(アプリケーションプログラム)が収録されていますので、プログラム作成なしでパソコン計測がすぐに始められます。

「実例集」は、ソースコード(Visual Basic 他)付きですので、お客様によるカスタマイズも可能です。

詳細は、当社 Web サイトでご確認ください。

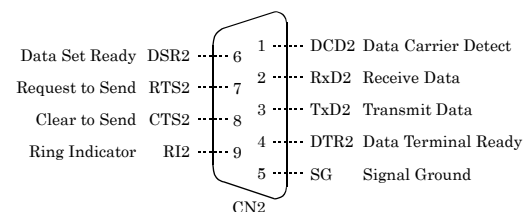
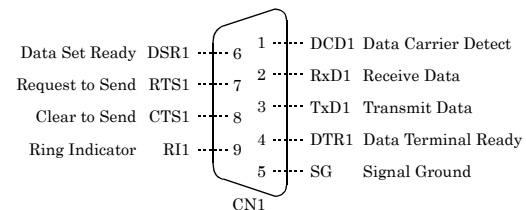
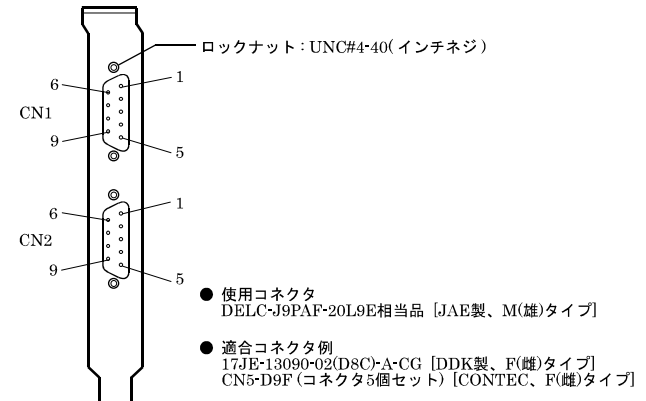
外部機器との接続

接続方法には、ボード上のコネクタから直接接続する方法があります。

◆ボード上のコネクタから直接接続する

ボード上のコネクタから直接外部機器に接続する場合は、別売のケーブルなどを使用してください。また、ケーブルを自作する場合は、別売のコネクタ CN5-D9F などを使用してください。

■信号配置



■接続ケーブル (別売)

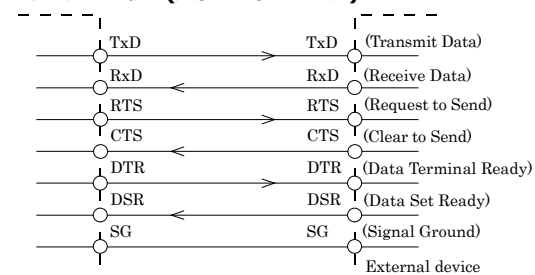
RS-232C D-SUB9P ストレートケーブル(1.8m) RSS-9M/F

RS-232C D-SUB9P クロスケーブル(1.8m) RSC-9F

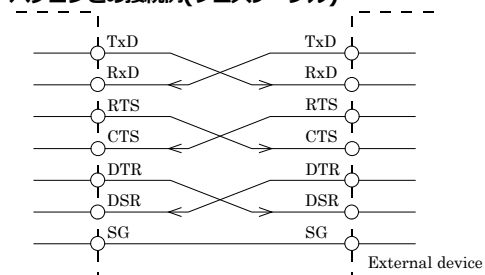
ケーブルの種類と接続例

RS-232C インターフェイスの接続は、モデムやコンピュータ(パソコン)などのように、接続する機器によって使用するケーブルが異なる場合があります。したがって、ケーブルは接続する外部機器の仕様を確認の上、その種別(仕様)によってストレートタイプ、あるいはクロス(リバース)タイプを用意してください。さらに、コネクタ内で信号線処理の必要がある場合には、仕様に合わせ適切に処理を行ってください。

モデムとの接続例(ストレートケーブル)



パソコンとの接続例(クロスケーブル)



機器との接続例

